

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	国語総合	5	1年10組～12組

使用教科書	副教材
東京書籍 『精選国語総合』	『プレミアムカラー国語便覧』数研出版、『新精選古典文法改訂版』『新精選古典文法準拠ノート』東京書籍、『精説漢文改訂版』『精説漢文必修ノート』『入試頻出漢字+現代文重要語彙TOP2500 改訂版』いっずな書店、『シンプルスタイルシリーズ古文単語 301』『基礎現代文大学入学共通テスト対策版』『基礎古典大学入学共通テスト対策版』尚文出版

1. 学習の目標

<ol style="list-style-type: none"> 1 国語で適切に表現し理解する能力を育成するとともに、伝え合う力を高める。 2 思考力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨く。 3 言語文化に対する関心を深めるために、現代の文章や古典を読み、読書に親しむ態度を身に付ける。 4 高校国語の導入学年として、基礎・基本の反復、習熟を重視する。
--

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
国語や言語文化に対する関心を深め、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書いているか。	自分の考えを深め、発展させ、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりしているか。	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けているか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎学力到達度テスト対策	問題演習	定期試験の成績 小テストの成績 授業中の態度・発言 家庭学習の取り組み (予習・復習・提出物)
		現代文 「届く言葉」	相手に「届く言葉」とそうでない言葉の違いについて、対比的に書かれた随想を読み取る。	
	5	古文 『宇治拾遺物語』(絵 仏師良秀)	用言の活用について理解する。係り結び、接続助詞ば)の用法について理解する。 古文の動詞を学ぶ。	
		漢文『精説漢文』(基礎編)	漢文の基礎事項を学ぶ。	
	6	現代文 「羅生門」	小説の読解の基本を学ぶ。	
	古文 「徒然草」(神無月のころ・九月二十日のころ)	話の概略を把握し、登場人物の行動を読み取る。作者の心情を読み取る。 古文の形容詞・形容動詞・助動詞・助詞(係り結び等)を学ぶ。		
	7	漢文 「故事成語」(矛盾・推敲)	語句・句法の意味、用法に注意し、本文の内容を理解する。 事成語の意味を理解する。 評論文読解の基本と現代的なテーマについて学ぶ。	

2	9	現代文 「欲望と科学」	欲望と科学の関係についての筆者の考えを、論の展開に注意して的確に読み取る。
		古文 『伊勢物語』（筒井筒）	歌物語に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み取る。 古文の助動詞・助詞を学ぶ。
3	10	漢文 「寓話」（借虎威・魚父之利）	話の構成や展開を確かめ、寓話の内容や表現の仕方について理解する。 漢文の句法を学ぶ。
		現代文 「城の崎にて」	小動物の生と死をめぐる出来事が主人公の心情に及ぼした影響を、表現に即して読み取る。
	11	古文 『枕草子』（五月ばかりなどに山里に歩く・中納言参りたまひて）	作品の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。 古文の用言・助動詞に習熟する。 古文の敬語を学ぶ。
	12	漢文 「唐詩」（春暁・送元二使安西・香炉峰下、新卜山居草堂初成、偶題東壁）	漢詩のきまりと表現の特色について学び、唐詩の世界に親しむ。 漢文の句法を学ぶ。
	1	現代文 「まちの豊かさとは何か」 「ものと記号」	「豊かさ」とは何かについて書かれた評論を読み、その考え方の違いについて理解を深める。 記号が持つ性質を理解し、人間の文化的な営みの在り方について考えを深める。
	2	古文 「竹取物語（天の羽衣）」	作品に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み取る。 古文の用言・助動詞に習熟する。古文の敬語を学ぶ。
	3	漢文 「史話」（『十八史略』臥薪嘗胆）	史話に描かれた情景や人物の心情などを、表現に即して読み味わう。 漢文の句法に習熟する。
			年間を通じ、以下のことを行う。 *朝のHRも利用し、小テスト等を行い、受験レベルの漢字・語彙力等の養成に力を入れる。 *朝のHRなども利用し、読書習慣の確立をうながす。 *実力養成・実力テスト対策として、問題演習を行う。

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。